

# Zoladex Guidebook

これから治療を始める患者さんのために

ゾラデックス® 3.6mgデポ  
ゾラデックス® LA10.8mgデポ

## 治療ガイド

～薬の解説と治療の手引き～

副作用のケア  
動画  
視聴コード付き



監修：京都大学大学院医学研究科・器官外科学講座 泌尿器科学  
教授 小川 修 先生

※監修者のご所属は資料作成当時のものです(2012年12月現在)

## — も く じ —

■はじめに	P3
■前立腺がんの内分泌療法について	P4
■ゾラデックス®について	
・ゾラデックス®とはどのような薬ですか？	P6
・ゾラデックス®の治療効果は？	P8
・ゾラデックス®3.6mgデポの主な副作用を教えてください	P10
・ゾラデックス®LA10.8mgデポの主な副作用を教えてください	P12
■ゾラデックス®の投与方法	
・投与方法と治療スケジュールは？	P14
・治療を始めるにあたって、注意することはありますか？	P15
■ゾラデックス®についての質問	P16
■ゾラデックス®LA10.8mgデポについての質問	P19
■治療中に多くみられる副作用のケア	P22
■治療を受けられる患者さんへ	P26
■参考 主な内分泌療法剤	P27
■薬の名前・剤形・有効成分など	P28
■次回の注射予定日（記入欄）	P30
■内分泌療法に多くみられる副作用とケアのポイント 動画のご案内	P31

## はじめに

がんの治療では、患者さんが自分の治療の目的や効果、これから使う薬について十分理解し、納得いただいた上で治療を進めることが大切です。

「ゾラデックス® 3.6mg デポ」「ゾラデックス® LA10.8mg デポ」（一般名：ゴセレリン酢酸塩）は、精巢（睾丸）からの男性ホルモンの分泌を抑えてがん細胞の増殖を抑制する前立腺がんの治療薬です。

この小冊子では、前立腺がんの治療薬「ゾラデックス® 3.6mg デポ」「ゾラデックス® LA10.8mg デポ」の働きや効果、副作用、治療時の注意点など、患者さんにぜひ知っていただきたい事柄を取り上げ解説しました。

担当医とのよりよいコミュニケーションのもと、適切な治療を続けていただくためにお役立てください。



## 前立腺がんの内分泌療法について

前立腺がんは、多くが男性ホルモンの影響を受けて成長・増殖します

前立腺は男性の生殖器のひとつで、その成長や働きが、主に精巣でつくられる男性ホルモんに支配されています。

前立腺に発生するがん（前立腺がん）も同様に、その多くが男性ホルモンの影響を受けており、**男性ホルモンの働きによって、がん細胞の発育や増殖が促されています。**

前立腺がんは、欧米において頻度が高いがんとして知られていますが、最近では日本でも社会の高齢化や食生活の欧米化などの影響により、患者さんの数が増えています。また、診断技術が進歩したことで、従来発見されなかった早期のがんも診断されるようになってきました。



内分泌療法は、男性ホルモンの働きを抑え、前立腺がんの増殖を抑える大切な治療法です

**男性ホルモンの働きを抑え、前立腺がん細胞の増殖を抑える治療法を内分泌療法といいます。**

前立腺がんの内分泌療法は、副作用が比較的少なく身体への負担が軽いのが特徴で、多くの患者さんに効果が認められています。また年齢やがんの広がり具合（病期）にかかわらず、どの状態の患者さんにも行えることから、前立腺がんの大切な治療法となっています。

内分泌療法は単独で行われるほか、手術や放射線治療の前に行われることもあります。

内分泌療法で使われる薬の種類について

前立腺がんの内分泌療法で使われる主な薬剤は、大きく3つの種類に分けられます（27ページの参考をご覧ください）。

このうち中心として用いられるのが「LH-RH アゴニスト」と呼ばれる薬（注射薬）です。「LH-RH アゴニスト」は、働きの異なる他の内分泌療法剤と組み合わせて用いる場合もあります。

いつ、どの薬剤を用いるかについては、患者さんの年齢や病期、それまでの治療歴なども考えながら選択します。

# Q ゾラデックス®とは どのような薬ですか？

精巣からの男性ホルモンの分泌を抑えて  
前立腺がんの増殖を抑える薬（注射薬）です

男性ホルモン（テストステロン）は、主に精巣（睾丸）でつくられています。

ゾラデックス®は、下垂体に作用して精巣での男性ホルモン（テストステロン）の分泌を抑制し、前立腺がんの増殖を抑える「LH-RHアゴニスト」と呼ばれる薬です。

その剤形には、1回の注射で4週間（28日）効果が持続する「ゾラデックス®3.6 mgデポ」と、12～13週間効果が持続する「ゾラデックス®LA10.8 mgデポ」の2種類があります。どちらも、定期的に病院で注射を受けることにより治療を続けることができます。

## ■ゾラデックス®の種類と注射期間

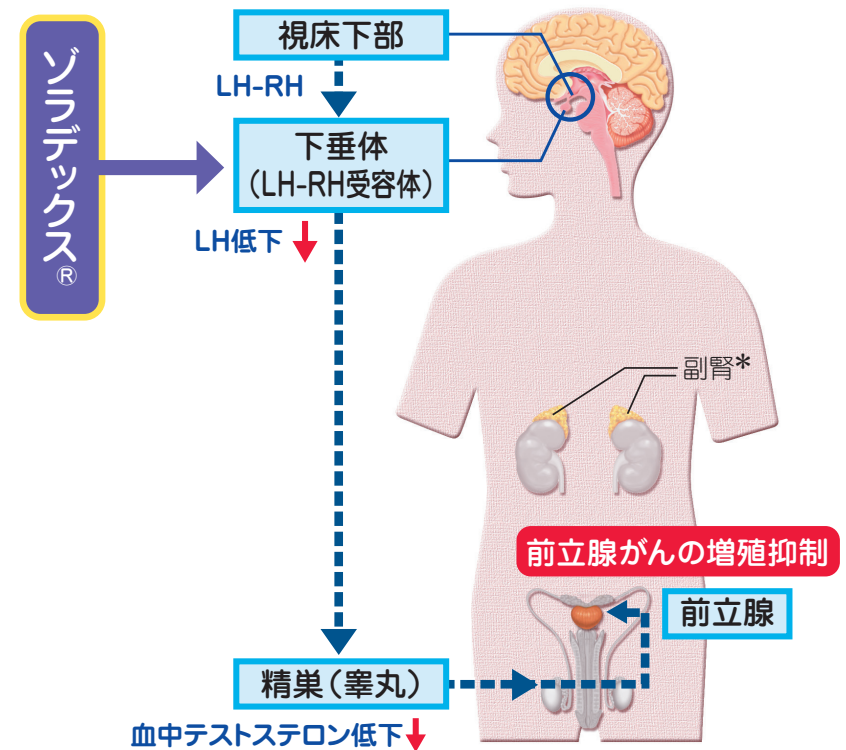
剤形の種類	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
3.6mgデポ (4週持続型)	注射	注射	注射	注射	注射	注射	注射	注射	注射	注射	注射
4週に1回 注射											
10.8mgデポ (3ヵ月持続型)	注射	注射	注射	注射	注射	注射	注射	注射	注射	注射	注射
12～13週に1回 注射(年4回)											

どちらも  
外来で治療  
できます



## 図1 ゾラデックス®の働き

精巣（睾丸）のテストステロンの分泌は、脳の視床下部や下垂体から放出される性腺刺激ホルモンによって調節されています。ゾラデックス®は、下垂体に作用して性腺刺激ホルモンに影響を与え、精巣からのテストステロンの分泌を抑えることで前立腺がんの増殖を抑制します。



LH-RH：性腺刺激ホルモン放出ホルモン LH：性腺刺激ホルモン  
\*テストステロンの多くは精巣から分泌されていますが、一部は副腎でもつくられています。

# Q ゾラデックス®の治療効果は？

手術で精巣を摘出したときと同様の  
テストステロン抑制効果を発揮します

ゾラデックス®は、体内に入ると薬効成分が徐々に放出される徐放性の薬（デポ剤）で、前腹部に皮下注射します。

注射治療を始めると、テストステロンは一時的に上昇しますが、約3～4週間で両側精巣を外科的に摘出した場合と同じレベルにまで男性ホルモン（テストステロン）が低下し（図2）、継続投与によって効果が持続します。

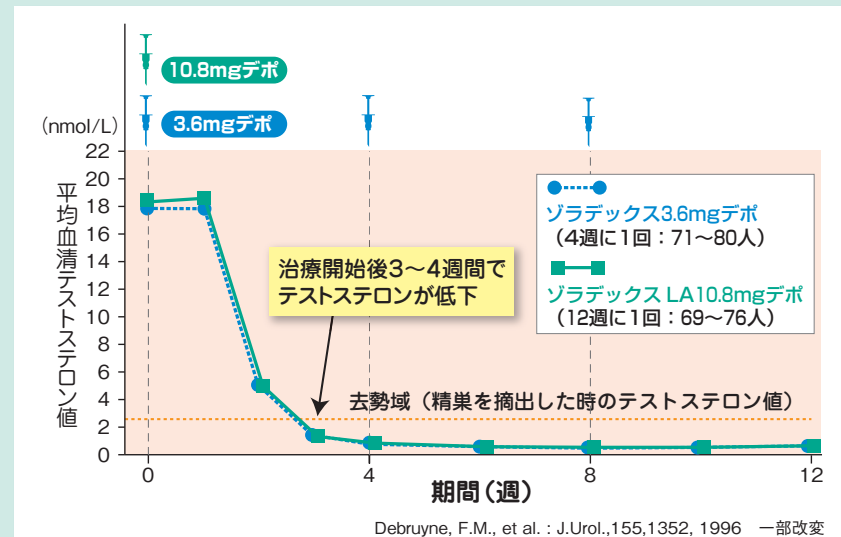
このように、ゾラデックス®は、精巣からのテストステロン抑制効果によって、前立腺がんに対する治療効果を発揮します。

## 治療メモ

- ゾラデックス®は、単独で使う場合と、他の内分泌療法剤と併用する場合があります。
- 併用する場合には、副腎からもつくられる男性ホルモンの働きをブロックする「抗男性ホルモン剤」が主に使われます。



図2 ゾラデックス®のテストステロン抑制作用



ゾラデックス® 3.6 mg デポ、ゾラデックス® LA10.8 mg デポとも、継続投与によって、手術で精巣を摘出したときと同じレベルの低テストステロン状態を維持させます。



## Q ゾラデックス<sup>®</sup> 3.6mg デポの 主な副作用を教えてください

■「ゾラデックス<sup>®</sup> 3.6mg デポ」で治療した 3872 人の患者さんの調査では、臨床検査値の異常を含む副作用が 10.1%の患者さんにみられました。

主な副作用としては、LDH上昇、AI-P上昇、トリグリセライド上昇、コレステロール上昇を含む代謝・栄養障害（3.28%）や、AST上昇、ALT上昇を含む肝臓・胆管系障害（2.56%）などでした。

また、ゾラデックス<sup>®</sup> 3.6mg デポの治療中は、顔やからだがほてる、汗をかく、乳房が痛んだりする感じがする、倦怠感を感じる、性欲がなくなる、ぼつき力が低下する、などの症状があらわれることがあります。その他、ゾラデックス<sup>®</sup> 3.6mg デポの初めての投与から1ヵ月間は、骨が痛い、尿が出ない、または尿が出にくくなる、背中が痛い、しびれる、などの症状があらわれることがあります。これらは、血中テストステロンの一時的な上昇に伴う一過性の症状と考えられています。

ゾラデックス<sup>®</sup> 3.6mg デポの副作用については右ページ（11 ページ）をご参照ください。

気になる症状があらわれたときは、医師または薬剤師にすぐにご相談ください。



治療中に多くみられる副作用とケアのポイントについては22～25ページをご覧ください。また、2次元コードから動画でもご覧いただけます。



### 特に注意すべき副作用

- 骨が痛い・尿が出ない・尿が出にくくなる・背中が痛い・しびれなど(前立腺がん 随伴症状の増悪)
- 顔、くちびる、舌、のどが腫れる・足が腫れる・物が飲み込みにくい・息ができない・発熱・発疹(ほっしん)がでる(アナフィラキシー)
- 息切れがする・息苦しい・から咳が出る・発熱(間質性肺炎)
- 発熱・発疹・からだがだるい・かゆみ・吐き気・食欲がない・皮膚や白目が黄色くなる(肝機能障害、黄疸)
- のどが渇く・大量の水を飲む・尿量の増加・疲れやすい・体重の減少(糖尿病の発症又は増悪)
- 体がだるい・息切れがする・足がむくむ(心不全)
- 手足のまひやしびれ・しゃべりにくい・胸の痛み・呼吸困難・片方の足の急激な痛みや腫れ(血栓塞栓症(心筋梗塞、脳梗塞、静脈血栓症、肺塞栓症など))

### 注意すべき副作用

- (血圧の変動(高血圧、低血圧等))
- 発疹・かゆみ(発疹、そう痒感)、頭髮が抜ける(脱毛)
- 乳房が痛んだりする感じがする(乳房腫脹・乳房圧痛)、性欲がなくなる(性欲減退)、ぼつき力が低下する(勃起力低下)
- (BUN上昇、クレアチニン上昇、蛋白尿)
- (AST上昇、ALT上昇、AI-P上昇、LDH上昇、 $\gamma$ -GTP上昇)
- 骨が痛い(骨性疼痛)
- 動悸・息切れがする・からだがだるい・疲れやすい・食欲がない・顔やまぶたのうらが白っぽい・手足が冷える(貧血)
- 注射した箇所から血が出る・あおあざができる・はれている・注射した箇所のしこり・痛み(注射部位反応[出血、血腫、膿瘍、硬結、疼痛等])
- 顔がほてる・急に顔が熱くなる(顔面潮紅)、汗が出る(発汗)、熱が出る(発熱)、からだほてる(体のほてり)、顔や手足がむくむ・まぶたがはれぼったい(浮腫)、(トリグリセライド上昇)、(コレステロール上昇)、食欲がない(食欲不振)、体重が増える(体重増加)、からだだるい(倦怠感)
- しびれる・ちくちくする感じ(感覚異常[しびれ等])、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる(幻覚)、非現実的なことを強く確信する(妄想)、憂うつな気分が長期間続く(気分変調[抑うつ等])
- 吐き気がする・吐く(悪心、嘔吐)
- 関節が痛い(関節痛)、骨がもろくなる(骨塩量の低下)
- のどの痛み・発熱・歯ぐきや鼻などから出血しやすい・あおあざができる・出血が止まりにくい(白血球減少、血小板減少)
- 鼻血が出る(鼻出血)、(血糖値上昇)、(下垂体卒中)、(下垂体腺腫)

\*上記に記載のない気になる症状があらわれたときも、医師または薬剤師にご相談ください。

## Q ゾラデックス® LA10.8mg デポの 主な副作用を教えてください

■「ゾラデックス® LA10.8mg デポ」で治療した 3037人の患者さんの調査では、臨床検査値の異常を含む副作用が 6.1%の患者さんにみられました。

主な副作用としては、からだのほてり(1.4%)、肝機能異常(0.6%)、AST上昇(0.5%)、AI-P上昇(0.5%)、ALT上昇(0.4%)、汗が出る(0.5%)などでした。

また、ゾラデックス® LA10.8mg デポの治療中は、顔やからだがかぼてる、汗をかく、乳房が痛んだりする感じがする、倦怠感を感じる、性欲がなくなる、ぼつき力が低下する、などの症状があらわれることがあります。

その他、ゾラデックス® LA10.8mg デポの初めての投与から1ヵ月間は、骨が痛い、尿が出ない、または尿が出にくくなる、背中が痛い、しびれるなどの症状があらわれることがありますが、これらは、血中テストステロンの一時的な上昇に伴う一過性の症状と考えられています。

ゾラデックス® LA10.8mg デポの副作用については右ページ(13ページ)をご参照ください。

気になる症状があらわれたときは、医師または薬剤師に早めにご相談ください。



治療中に多くみられる副作用とケアのポイントについては22~25ページをご覧ください。また、2次元コードから動画でもご覧いただけます。



### 特に注意すべき副作用

- 骨が痛い・尿が出ない・尿が出にくくなる・背中が痛い・しびれなど(前立腺がん 随伴症状の増悪)
- 顔、くちびる、舌、のどが腫れる・足が腫れる・物が飲み込みにくい・息ができない・発熱・発疹(ほっしん)がでる(アナフィラキシー)
- 息切れがする・息苦しい・から咳が出る・発熱(間質性肺炎)
- 発熱・発疹・からだがだるい・かゆみ・吐き気・食欲がない・皮膚や白目が黄色くなる(肝機能障害、黄疸)
- のどが渇く・大量の水を飲む・尿量の増加・疲れやすい・体重の減少(糖尿病の発症又は増悪)
- 体がだるい・息切れがする・足がむくむ(心不全)
- 手足のまひやしびれ・しゃべりにくい・胸の痛み・呼吸困難・片方の足の急激な痛みや腫れ(血栓塞栓症(心筋梗塞、脳梗塞、静脈血栓症、肺塞栓症など))

### 注意すべき副作用

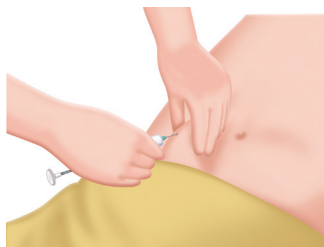
- ぼつき力が低下する(勃起力低下)
- (AST上昇、ALT上昇、AI-P上昇、LDH上昇、 $\gamma$ -GTP上昇)
- 動悸・息切れがする・からだがだるい・疲れやすい・食欲がない・顔やまぶたのうらが白っぽい・手足が冷える(貧血)
- 注射した箇所から血が出る・あおあざができる・はれている・注射した箇所のしこり・痛み(注射部位反応(出血、血腫、膿瘍、硬結、疼痛等))
- 汗が出る(発汗)、からだがかぼてる(体のほてり)、(トリグリセライド上昇)、(コレステロール上昇)、顔や手足がむくむ・まぶたがはれぼったい(浮腫)、からだがだるい(倦怠感)
- (血圧の変動[高血圧、低血圧等])
- 発疹・かゆみ(発疹、そう痒感)、頭髮が抜ける(脱毛)
- 性欲がなくなる(性欲減退)、乳房が痛んだりする感じがする(乳房腫脹・乳房圧痛)
- 尿が出にくくなる(排尿困難)、(BUN上昇)、(クレアチニン上昇)、(蛋白尿)
- しびれる・ちくちくする感じ(感覚異常[しびれ等])、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる(幻覚)、非現実的なことを強く確信する(妄想)、憂うつな気分が長期間続く(気分変調[抑うつ等])
- 吐き気がする・吐く(悪心、嘔吐)
- 骨が痛い(骨性疼痛)、関節が痛い(関節痛)、骨がもろくなる(骨塩量の低下)
- のどの痛み・発熱・歯ぐきや鼻などから出血しやすい・あおあざができる・出血が止まりにくい(白血球減少、血小板減少)
- 食欲がない(食欲不振)、顔がかぼてる・急に顔が熱くなる(顔面潮紅)、熱が出る(発熱)、体重が増える(体重増加)、鼻血が出る(鼻出血)、(血糖値上昇)、(下垂体卒中)、(下垂体腺腫)

\*上記に記載のない気になる症状があらわれたときも、医師または薬剤師にご相談ください。

## Q 投与方法と治療スケジュールは？

### ◆投与方法

ゾラデックス<sup>®</sup> デポは、前腹部の皮下に注射します。  
注射された薬は徐々に溶け出して長期間作用します。

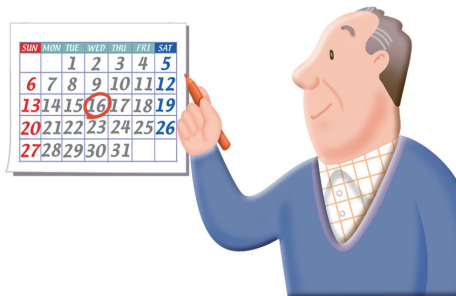


### ◆治療スケジュール

ゾラデックス<sup>®</sup> 3.6mg デポは4週間効果が持続します。  
ゾラデックス<sup>®</sup> 3.6mg デポをお使いの患者さんは、必ず**4週（28日）ごと**に投与を受けてください。

ゾラデックス<sup>®</sup> LA10.8mg デポは、12～13週間効果が持続します。  
ゾラデックス<sup>®</sup> LA10.8mg デポをお使いの患者さんは、必ず**3ヵ月（12～13週）ごと**に投与を受けてください。

持続期間が過ぎると薬の効果が薄れてしまいますので、必ず決められたスケジュールをきちんと守り、定期的に受診してください。



## Q 治療を始めるにあたって、注意することはありますか？

### ◆治療を安全に行うために、ゾラデックス<sup>®</sup>の治療を始める前や治療中は次の点に注意してください。

- 現在、お使いいただいている薬は、薬局で買った薬を含め、すべて担当医に伝えてください。
- 以前に注射や薬を飲んで発疹などが出たことがある人は、あらかじめ担当医に伝えてください。
- 他の医療機関を受診する場合や薬局で薬を買う場合は、ゾラデックス<sup>®</sup>の投与を受けていることを伝えてください。

### ◆ゾラデックス<sup>®</sup> 投与後の注意点

- ゾラデックス<sup>®</sup>を注射した場所(投与部位)は揉まないでください。
- 投与から数日間は、以下の症状に注意し、症状があった場合はすぐに医療機関に連絡してください。  

注射部位周囲の腫れ、注射部位周囲の痛み、注射部位周囲の肌の色の変化（内出血）、気分が悪い、動悸、冷や汗がでる
- 出血した場合には、きちんと血が止まったことを確認してから帰宅してください。しばらく経っても血が止まらない場合は、医師や看護師に相談してください。
- 帰宅途中や帰宅後に、注射部位から出血があった場合には、上から軽く押さえてください。血が止まらない場合や、いつもと違う症状があると感じたときは、すぐに注射を受けた医療機関に連絡して相談してください。





よくある質問に  
お答えします



**Q** ゾラデックス® を、手術や放射線治療後の補助療法に使うことはありますか？



**A** ゾラデックス® は、手術や放射線治療後の再発を抑える補助療法にも使われています

一般に、比較的早期の前立腺がんでは、前立腺の摘出手術や放射線治療が行われます。しかし、早期であっても、目に見えないがん細胞が全身に広がっている可能性が考えられる場合は、手術や放射線などの局所的な治療だけでは十分ではないため、再発を予防するための治療が必要となります。

このように、全身に広がっているかもしれない微細ながん細胞の増殖を抑え、がんの再発を予防するための治療を「補助療法」といいます。

ゾラデックス® は、前立腺がんの補助療法でも使われている治療薬で、手術や放射線治療後の前立腺がんの再発を抑えることが期待できます。



**Q** 進行した前立腺がんにも有効ですか？

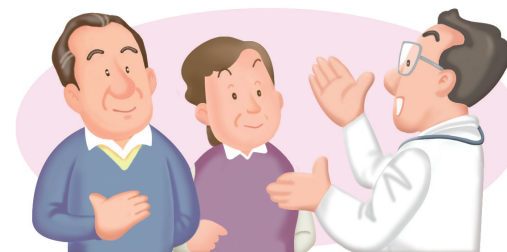


**A** ゾラデックス® は、進行した前立腺がんに対しても効果が期待できる治療薬です

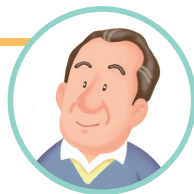
前立腺がんは、早期のうちほとんど症状がありません。このため、患者さんが前立腺がんと診断されたときには、がんが前立腺の周囲の組織に広がっていたり、リンパ節や他の臓器に転移した状態で見つかることもあります。

ゾラデックス® は、こうした進行期の前立腺がんの患者さんに対しても効果が期待できる治療薬です。

進行期の前立腺がんの患者さんにゾラデックス® を用いる場合は、前立腺がん細胞の増殖を抑えてがんの進展を遅らせ、病気をよりよくコントロールすることが主な治療目的となります。



**Q** ゾラデックス® で治療を始めました。  
今後の治療の進め方について  
教えてください。



**A** ゾラデックス® による前立腺がんの治療中は、病気の  
状態や治療効果を調べるため、定期的に診察と検査を行  
います。

検査では、主に血液検査で前立腺がんの腫瘍マーカー  
である PSA（ピー・エス・エー）の値を測定したり、  
必要に応じて画像検査などを行って、患者さんの状態を  
定期的に調べます。検査の結果、治療の効果が得られな  
くなってきた場合は、他の内分泌療法剤に切り替えたり、  
他の治療法に変更することがありますので、指示された  
定期検査は欠かさず受診するようにしてください。

### ■ PSA（ピー・エス・エー）とは？

PSA（前立腺特異抗原）は、前立腺でつくられるタンパク質の  
一種です。PSA は正常な人でも血液中に存在していますが、  
前立腺がんが発生するとより多くの PSA が血液中に移行しま  
す。また、前立腺がんの病勢が進展すると、  
PSA 値は高値を示すことが多くなります。  
PSA は精度が高く血液検査で簡便に測定  
できることから、前立腺がんの診断はもと  
より、治療の経過を確認する重要な指標と  
して広く用いられています。



## ゾラデックス® LA 10.8mg デポ についての質問



**Q** 3カ月に1回の注射で効果は  
続くのですか？



**A** ゾラデックス® LA10.8mg デポは、体内に入ると薬効  
成分が3ヵ月かけて徐々に放出される仕組みになって  
いますので、約3ヵ月（12～13週）ごとの投与で治  
療を続けていただくことができます。

ただし、検査や診察などが必要な場合は、注射日のほ  
かに通院していただくこともあるので、担当医によく確  
認し、今後の診療スケジュールをメモしておくといいで  
しょう。

Q

3ヵ月分の注射をするので副作用が心配です…。



A

ゾラデックス® LA10.8mg デポでは、体内に溶け出す薬の量（血中濃度）が常に一定になるように作られていますので、治療効果や副作用が特に強く現れることはありません。また4週間持続型「ゾラデックス® 3.6 mg デポ」との安全性を比較した調査においても、副作用の種類や頻度に大きな差はありませんでした。

気になる症状があらわれたときは、早めに担当医または薬剤師にご相談ください。

Q

ゾラデックス® LA10.8mg デポの投与間隔を13週間以上に延ばしてもよいですか？



A

ゾラデックス® LA10.8mg デポを有効にお使いいただくためには、12～13週間隔で投与することが必要です。投与間隔が13週間以上あいてしまうと効果が薄れ、十分な治療効果が期待できなくなる可能性がありますので、必ず12～13週ごとに注射を受けるようにしてください。

Q

3ヵ月に1回の注射では、受診する間隔が開いてしまうので不安です…。



A

ゾラデックス® LA10.8mg デポをお使いの場合、注射の間隔は12～13週ごとになりますが、注射を受けないときでも、診察や検査のために通院していただくこともあります。

「受診する間隔が長く不安を感じる」という方は、そのことを担当医に伝え、よく相談しながら今後のスケジュールを立てておくといよいでしょう。

また、注射日や診察日を変更したい場合も、早めに医師にご相談ください。

次の受診日は？

来月検査をしますのので"予約をとっておきましょう"



## ● 治療中に多くみられる副作用のケア



ゾラデックス® の治療中に  
多くみられる副作用と  
ケアのポイントをご紹介します

### 顔やからだがほてる、汗をかく

ゾラデックス® による内分泌療法を始めると、気温や体温に関係なく、**からだや顔がほてったり、急に顔が熱くなる、汗をかく**など、更年期症状に似た症状が生じることがあります。(こうした症状を「ホットフラッシュ」といいます)。

#### ● 日常生活の工夫を上手に取り入れましょう

これらの対策としては、下記のような工夫が有効です。

- 木綿などの吸湿性のよい下着や寝具を用いる
- 外出時には、ほてった時に脱ぎ着しやすい服装を選ぶ
- からいものや、アルコールの摂取を避ける
- 市販の制汗剤を使う(メントール入りで冷却作用のあるものなど種類が豊富)
- 発汗時には、  
    ( 蒸したタオルで汗を拭く  
    冷やした濡れタオルを用いる

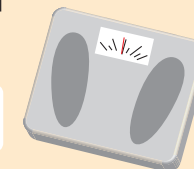
### 体重増加、中性脂肪・コレステロール上昇

治療中は、**体重が増えたり、トリグリセライド(中性脂肪)やコレステロールが上昇**することがあります。こうした状態が続くと、肥満症や脂質異常症などを招きやすくなりますので、**食生活に気をつけ、適度な運動を心がける**ことが大切です。

#### ● 標準体重を知っておきましょう

今の状態を知ることが、肥満の予防や改善の手がかりとなります。標準体重を計算し、こまめに体重を計るようにしましょう。

$$\bullet \text{標準体重(Kg)} = \text{身長(m)} \times \text{身長(m)} \times 22$$



#### ● 食生活に注意し、適度な運動を心がけましょう

肥満の予防は、適正エネルギー量の範囲内で、栄養バランスのよい食事をとることが基本です。コレステロールを多く含む食品は、栄養価が高いものが多いので取り過ぎには注意が必要ですが、極端に控えるのではなく、バランスよく適度に摂取するとよいでしょう。野菜を上手に活用したり、油を多く使う料理を減らすといった工夫も役立ちます。適度な運動も、肥満や脂質異常症の予防や改善につながります。

- コレステロールを多く含む食品(例)  
卵、レバー、するめ、いくら、たらこ など



## ● 治療中に多くみられる副作用のケア

### 骨がもろくなる（骨塩量の低下）

治療によって男性ホルモンの分泌が抑制されると、骨塩量が低下して、骨がもろくなることがあります。こうした変化は自覚しづらいものですが、将来の骨粗しょう症を予防するためにも、骨の健康にも目を向けることが大切です。

#### ◎カルシウムやビタミンDを意識して摂取

骨塩量の低下を防ぐためには、骨の健康に大切な栄養素である**カルシウム**の摂取と、吸収を促進させる**ビタミンD**の摂取を心がけることが大切です。また、**適度な運動と日光浴**も骨の健康を維持するうえで大切です。

#### カルシウムを多く含む食べ物

	1回に食べる量 (g)	カルシウム (mg)
牛乳	200	220
スキムミルク	20	220
プロセスチーズ	20	126
ヨーグルト	100	120
干しえび	5	355
わかさぎ	60	270
ししゃも	50	175
とうふ	75	90
納豆	50	45
小松菜	80	136

(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版より改変)

- 日本人の平均カルシウム摂取量は550mg。骨粗しょう症の予防のためには、1日800mg以上摂りましょう。

### 乳房の腫れ、痛み（乳房腫脹、乳房圧迫）

治療を続けていくうちに、乳房が痛んだり、張ってくる場合があります。乳頭が洋服と擦れることで痛みを感じることもあります。このような場合は、衣服や下着を調節して刺激を避けることで、痛みや違和感が和らぐことがありますので、対処法の一つとして役立ててみてください。

#### ◎下着や衣服の調整を

- 擦れても刺激の少ない綿素材の下着をつける
- ガーゼなどで乳頭を保護する



副作用に対するケアのポイントについては、2次元コードからご覧いただける動画で詳しくご紹介しています。ぜひお役立てください。



監修：田中 純子 先生  
首都大学東京健康福祉学部  
看護学科 准教授

※監修者のご所属は資料作成当時のものです(2012年12月現在)

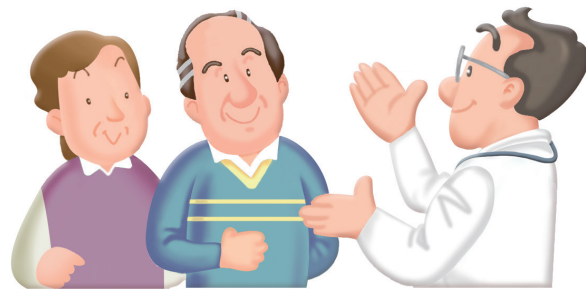


## 治療を受けられる患者さんへ

内分泌療法は、長い時間をかけてじっくり取り組む治療法ですので、あせらず決められたスケジュールにしたがって治療を続けてください。

もし分からないことや不安なこと、治療中に気になる症状があったときは、遠慮せず担当医に相談しましょう。また、ご家族ともよく話し合い、いろいろな希望があれば、医師に伝えることも大切です。

医師や看護師、ご家族とも十分コミュニケーションをとりながら、納得のいく治療を続けてください。





## 参考 主な内分泌療法剤

薬剤名（投与方法）	主な作用
<b>LH-RH アゴニスト製剤</b> （4週または3ヵ月に1回皮下投与）	精巣でつくられる男性ホルモン（テストステロン）の分泌を抑制し、がんの増殖を抑える
<b>抗男性ホルモン剤</b> （毎日経口）	男性ホルモンが、前立腺がん細胞に働くのをブロックして、がんの増殖を抑える
<b>女性ホルモン剤</b> （毎日経口・静脈注射）	女性ホルモン（エストロゲン）を投与することで、精巣からの男性ホルモン（テストステロン）の分泌を抑制し、がんの増殖を抑える

### ●メモ

■薬の名前・剤形・有効成分など

製品名	ゾラデックス® 3.6mg デポ (4週間持続型製剤)
一般名	ゴセレリン酢酸塩
有効成分含量	ゴセレリン 3.6mg
外 観	<p>ゾラデックス® 3.6mg デポ投与キット</p>  <p>ゾラデックス®3.6mgデポ</p>  <p>約1.2mm</p> <p>約10mm</p> <p>原寸大</p>
剤 形	淡黄褐色の円柱状の固形物

製品名	ゾラデックス® LA10.8mg デポ (12～13週間持続型製剤)
一般名	ゴセレリン酢酸塩
有効成分含量	ゴセレリン 10.8mg
外 観	<p>ゾラデックス® LA10.8mg デポ投与キット</p>  <p>ゾラデックス®10.8mgデポ</p>  <p>約1.5mm</p> <p>約16mm</p> <p>原寸大</p>
剤 形	白色～淡黄褐色の円柱状の固形物

## 次回の注射予定日を書いておきましょう

年 月 日( 曜日)

年 月 日( 曜日)

年 月 日( 曜日)

年 月 日( 曜日)

年 月 日( 曜日)

年 月 日( 曜日)

年 月 日( 曜日)

年 月 日( 曜日)

年 月 日( 曜日)

年 月 日( 曜日)

年 月 日( 曜日)

年 月 日( 曜日)

## 内分泌療法に多くみられる 副作用とケアのポイント ～動画のご案内～

内分泌療法の副作用でみられる症状を少しでも緩和し、患者さんやご家族が快適な生活を笑顔で送ることができるよう願いを込めて、副作用とケアのポイントをまとめた動画を作成しました。ぜひ日常生活のケアにお役立てください。

### ■ 動画のご視聴方法

2次元コードから動画掲載サイトにアクセスいただき、ご視聴頂けます。



\*スマートフォン対応



これから治療を始める患者さんのために

ゾラデックス<sup>®</sup> 3.6mgデポ  
ゾラデックス<sup>®</sup> LA10.8mgデポ

## 治療ガイド

～薬の解説と治療の手引き～

医療機関名

住 所

電 話

担当医師名

発行：アストラゼネカ株式会社 制作：リノ・メディカル株式会社